



第8回全体研究会

10月18日に第8回全体研究会が行われました。秋田県生涯学習センターの柏木睦^{あつし}氏を招いて「障害者の生涯学習について」と題し、生涯学習の理念や障害者の生涯学習に関する意識調査の結果などを基に御講話をいただきました。

柏木先生からは、生涯学習のキーワードとして、「全て学校で解決しようとしな^い」、「課題の共有→目標の共有」、「ゆるやかなネットワークづくり」といったキーワードをいただきました。

学校現場では、みんな同じ道を通して「目標」という山の頂上に向かわなければならないと考えがちですが、それぞれが好きな道を選んでもよいというお話がありました。頂上「目標」を見失わないためにねらいを共有し、多様な道を開拓していこう！と職員の意識が高まりました。共有のための有効な協議方法である「熟議」について御紹介いただき、早速本校の「冬のセミナー」で取り入れることにしています。生涯学習センターの取組についても御紹介いただき、今後の研究を進めていく上でのたくさんのヒントをいただいた全体研究会となりました。

その後、各ワーキンググループ（リサーチグループ、資源活用グループ、MIグループ）に分かれてワークショップが行われ、柏木先生の助言を受けながら活発に意見交換を行いました。12月25日の公開研究協議会Ⅲ「冬のセミナー」での中間発表に向けてまとめの話合いに入っています。柏木先生の講話を参考にし、児童生徒の「生涯学習力」につながる教育課程について全校で考えていきたいと思ひます。

